



下阿多古小 150 年のあゆみ ～ 石神小学校と下阿多古小学校の統合 ～

昭和 30 年代後半になると、石神小学校、下阿多古小学校ともに児童数が徐々に減り始めたこともあり、昭和 44 年 4 月、両校は統合することになりました。一番多い時には両校合わせて 600 人以上いた児童数は、統合時は 286 人でした。校名は「天竜市立下阿多古小学校」としました。学校の位置は、現在の下阿多古小学校の位置とし、当時の校舎を使用しました。

統合に伴い、校章のデザインを公募し、同年 11 月に新しい校章が制定されました。

＜ 下阿多古小学校 石神小学校の校章 ＞

昭和 44 年までの下小	石神小学校	昭和 44 年以降の校章

これまで、石神小学校、下阿多古小学校ともに校歌はありませんでした。そこで、統合を機に、広く一般に公募し、昭和 44 年 11 月に制定されました。

下阿多古を象徴する自然である「鮎」「竹」「観音山」に例え、子供たちの成長を願う歌詞になっています。制定以降、今も歌い続けられています。

三
観音山を 仰ぎみて
豊かな 緑に はぐくまれ
希望をもって 明るい子
はげもうよ はげもうよ
けだかい山のように はげもうよ

二
みどりの若竹 たくましく
理想 めざして みがきあう
勇気 ふくらむ 正しい子
学ぼうよ 学ぼうよ
すなおに竹のよう 学ぼうよ

一
阿多古の川が ふるさとの
元気な 若あゆ 育てゆく
雨にも 風にも 負けない子
のびようよ のびようよ
若いあゆのよう のびようよ

下阿多古小学校 校歌

作詞 和田弥十
作曲 音楽部

昭和 52 年、プールが敷地内に作られました。それまでは、学校前の淵（千字淵）を学校専用の水泳場として使用していました。川にロープを張って 25m プールを作り、水泳指導を行っていたそうです。

また、校舎の老朽化が進み、新しく建築することとなりました。工事期間中は、学校を旧石神小学校に移転し、今も残る木造 2 階建ての校舎を使用したそうです。

昭和 53 年、新しい鉄筋 3 階建て校舎が完成し、盛大に落成式が行われました。大雨に伴う阿多古川氾濫による浸水を回避するために、高床式構造の校舎にしました。

その後、昭和 59 年には、懸案であった運動場のかさ上げ工事が行われました。また、昭和 60 年には、体育館も完成しました。

これまで小学校の一室（今の生活科室）を下阿多古幼稚園として使用していましたが、昭和 61 年に園舎が体育館横に建築され、移転しました。

平成 17 年には、市町合併により「浜松市立下阿多古小学校」に校名が変更されました。



下阿多古小学校のうつりかわり

